



Rotary



2015-2016 年度

国際ロータリー会長／ K. R. ラビンドラン
2690地区ガバナー／ 佐藤 芳郎

会長／ 河原 治子 副会長／ 田中 浩史
幹事／ 清原 正幸 会 計／ 田中 久雄

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F
TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365 / IP: 050-5204-5816
URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: office@hirata-rotary.jp
9:00 ～ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

■例会プログラム ■

例 会 日	卓 話 者	演 題
2 月 18 日	島根大学 法文学部 教授 上園 昌武 様	島根のエネルギー問題を考える
2 月 25 日	国際奉仕委員長 内田節夫委員長	国際奉仕について
3 月 8 日	東京恵比寿RC 会員 司 葉子様	華やかな共演者達

■出席報告 ■

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前々回補正出席率
45	33	12 (5)	82.50%	82.50 %

■欠席者 ■

飯塚俊／飯塚大／曾田／石原俊／三好／園山／山口
(山根／牧野／木村／田中久／石原輝)

■来訪者 ■ なし

■メイクアップ ■ なし

■次回例会受付当番 ■

(3 月 8 日) 土江光二／加藤喜久／黒田昌弘

(3 月 10 日) 小村益造／来間 久／榎野良文

■近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう) ■

月	出雲中央 2/29 4/11 4/18	松江南
火	出雲 2/23 3/22(休) 4/5 6/21 6/28(休)	松江しんじ湖
水	大社	松江
木		松江東 3/31(休) 6/23 6/30(休)
金	出雲南	

■会長挨拶 ■

キラキラネーム

節分、立春も過ぎ2月は逃げると云う。月末を迎えている。
我が家の椿が次々と花を咲かせ、鶯が鳴きケキョケキョと。親鳥は絶対に姿を見せない。子供の鳴く声は可愛くもやかだ。警戒心が少ない。
今年度、地区補助金を利用して防犯カメラを灘分小学校に設置し、防犯教室やお話をした。その折、どれだけ理解されたか、又心得てくれているかと、標語を全校生徒から募集した。優秀作品に賞をあげるため再び小学校に行った。表彰状を下読みし、びっくり!! 名前が読めない、頭をひねる。校長曰く「まだよい方ですよ」ヘエツ! 不自然な漢字の羅列に驚くばかり。名前をつける親達は、個性的な名をのぞむのか?
この世にひとつだけの名前とは聞こえはよいが、子供が成長した時、悪影響を与えるようでは罪作り。

イジメの原因、筆記試験、入社試験などに...

名は常識的なものにせねば親の見識が疑われる。今、規制を設ける時にきているのではないか。

例えば、婆婆婆(サンバ) 姫奈(ピーナ) 丸楠(マルクス) 絆美(バンビ) 頼音(ライオン) 月下美人(ハニー) どう云うつもりなのか!!

■幹事報告 ■

1. 例会変更

- 出雲 RC 2/23(火) 夜間例会 (R創立111周年記念例会)
- 4/5(火) 花見例会 (ニューウェルシティ出雲)
- 6/21(火) 最終夜間例会

ビジター受付 11:30～12:30 ホテル武志山荘

- 出雲中央 RC 4/11(月)→4/10(日) 創立 25 周年記念式典
- 4/18(月) 花見例会 (夜間)

ビジター受付 11:30～12:30 事務局

2. 休 会

- 出雲 RC 3/22(火) 6/28(火) ビジター受付 なし

3. 会長エレクト研修セミナー(PETS)開催のご案内

日 時 3/12(土) 受付 12:00～
3/13(日) 12:15 終了

会 場 国際ファミリープラザ

当クラブ田中浩史会長エレクト出席致します。

■理事会決定事項 ■

1. 米山奨学生受け入れについて (地区より急な要請)

達 夏 (ダ シャ) さん (中国) 男性 2016/4 ～ 2018/3
島根大学 大学院 医学系研究科 医学博士課程 3年
カウンセラー 恒松克己 会員

2. 3/3(木)夜間例会を3/8(火)夜間例会に変更

司 葉子氏(東京恵比寿RC)をお迎えし。

■委員会報告 ■

クラブ広報委員会 : 「ロータリーの友」2月号の紹介

■スマイル ■

河原 (上園様、ようこそ平田ロータリーへおいで下さいました。)

清原 (上園教授、本日は宜しくお願いします。)

先日の新入会員セミナーお疲れ様でした。)

土江 (前回の例会では、新築祝いを頂きましてありがとうございます。)

また遊びに来て下さい。)

佐々木 (所用のため早退します。)

■スピーチ・例会行事 ■

「島根のエネルギー問題を考える」

島根大学 法文学部 教授 上園 昌武 様



従来原子力発電のメリットと言われてきた発電コスト・安定供給・環境保全は、福島原発事故以降は逆にデメリットと考えられています。
島根原発(設備利用率75%想定)は、島根県の電力需要量の1.5倍、三隅石炭火力発電所(設備利用率75%想定)と合計すると2.6倍を発電しており、島根は電力移出県です。

島根原発の経済総生産は、300～600億円程度と推測されますが、先進技術をもつ工場や企業が進出してないため、原発関連事業の地域への経済波及効果は乏しい現状です。一方、農業や漁業などの地場産業が衰退した結果、過疎・高齢化が進んでいます。

そこで、たとえば家屋の断熱化によってエネルギー損失を減らすなど、エネルギー消費を大きく減らしながら再生可能エネルギーへ転換することで100%の自給をめざす「エネルギー自立」が提唱されています。

省エネ対策や再生可能エネルギー普及は、産業と雇用の創出など地域に新たな事業をうみだします。また、大型発電所と異なり、事業が分散するので、地域毎に労働人口を増加させる結果、過疎化や高齢化対策にも効果が期待され、地域経済の自立に繋がるという意義があります。